

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 28日

事業所名 つみき第8 保護者等数(児童数) 33 回収数 18 割合 55%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	16	1	0	・入口にいつもスリッパが抜まっていて、少し開いているのが気になります。換気のためだと思うのですが、簡単に外から入れてしまうと、子供がいつ飛び出してしまうか心配です。外部からの侵入、部屋からの飛び出し対策は何か考えているのを知りたいです。 ・とても広いスペースで職員の方も全体が見やすい環境だと思います。 ・わかりません。	感染防止対策のため換気している。換気場所が入り口と裏の排煙口しかないため施設の構造上仕方がない。部外者の侵入に対しては『防犯マニュアル』に沿って対応する。各利用者に必ず担当職員が割り当てられており、職員どうし頻りに声掛けを行い、脱走を防いでいる。
	②	職員の配置数や専門性は適切である	14	3	0	・新年度の初めに、書面等で職員さんの紹介があるといいなと思います。 ・わかりません。	年度末に配布している『活動報告冊子』に職員全員の顔写真を載せています。そのページを年度の初めに配布するようにします。 ・重心・重心外ともに、教員の必要資格にも厚生労働省の基準を満たした配置となっております。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	16	1	0	・トイレは見た事ありませんが、他は適切だと思います。 ・わかりません。	
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	17	1	0		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	16	1	0	・利用して1年経ちませんが、固定化しないよう希望します。 ・状況によっては継続もありだとは思いますが、もう少し勉強や体力づくりなどしてほしい。	固定化しないよう工夫しています。新しい遊びも取り入れようと常に模索しています。ただし、継続して取り組んではじめて楽しさの理解につながる活動があるのも事実です。引き続き工夫・配慮していきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	10	3	・交流しているのかは聞いた事がない。 ・現在、コロナの影響でしようがない事だと思います。 ・わかりません。	公園遊びで、地域のお子さんと一緒に遊ぶ場面があります。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	15	3	0	・送迎時に伝えて頂いています。 ・いつも感謝ばかりです。ありがとうございます。	引き続き、送迎時の申し送りを細やかに行ってまいります。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	11	6	1	・まだまだコロナ禍で心配が尽きませんが、面談等で直接お話しできる機会があると理解が共有でき、深める事ができるのかなと思います。 ・前と比べ、面談なども面談なども実施していないと思いますが、少しずつ実施していくと良いと思います。 ・とても参考になり心強く感じています。	オンラインも活用しつつ、令和5年度は面談を積極的に行ってまいります。
非常 時の 対応	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	5	8	5	・あれは嬉しい。 ・現在、コロナで開催されていませんが、つみきさんは保護者の会がしっかりしているのは周知しています。 ・保護者会をもう少しまめにしてほしい。 ・わかりません。	令和5年度は保護者会を開催いたします。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	15	3	0		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	18	0	0		
	⑬	定期的な会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	16	2	0		
	⑭	個人情報に十分注意している	17	1	0		
満足 度	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	11	6	0		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	9	8	0	・避難訓練等を行った際には、教えて頂けたらと思います。	年二回、消防法で定められた自衛消防訓練は実施しています。その際には申し送りでお伝えしています。回数を増やしていきたいと思っています。
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	18	0	0	・とても楽しみにしていると、帰って来た時の顔でわかります。ありがとうございます。 ・散歩好きの我が子をよく連れ出してきてくれて有難いです。	ありがとうございます。これからも子どもたちが通所を楽しみにしてくれるよう努めてまいります。
	⑱	事業所の支援に満足している	18	0	0	・楽しく過ごさせて頂き、ありがとうございます。これからもう少しよろしくお願ひいたします。 ・いつもありがとうございます。第8での過ごし方も慣れてきて、きっと笑顔もそして泣くのも自然と出てきていると思います。これからも、更に職員の方々に愛されつつお友達と仲良く過ごせるといいなと思います。 ・幼児の頃から利用しています。安心してお任せできています。	ありがとうございます。これからも満足していただけるよう努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
 デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 28日

事業所名 つみき第8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	4	0	人数が多い時はA、Bで部屋分けをしている。	今後も特性等により適切な部屋分けを行う。
	②	職員の配置数は適切である	6	3	2	日によって子供の人数に対し職員が少なく、子供への目が届かない事がある。	職員が休みの日等は仕方がない面がある。職員どうし声掛け等を頻繁に行い、連携をよくとって事故やケガの防止に努める。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	1	1		現状、バリアフリー化は適切になされている。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	4	2	・参画した事がない。	適材適所・役割分担を優先している。情報共有だけは全職員で行うようにしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	2	0	・普段から、保護者さんの発言や希望を職員で共有しようとしている。	終礼・部会等で全職員で情報共有全職員している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	5	1	・わからない。 ・今後されるのだろうと思っています。	毎年公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	7	・今後行う予定。 ・フィードバックされているか分からない。HPIに上がっているのが分かりにくい。	実施を法人に求めていく、
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	2	0		
適切な 支援 の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	3	0		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	5	1	・知らないだけかも。	太田ステージを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	2	0		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	4	1	・同じプログラムに偏っているように見えます。	2便下校の子向けの短時間でできる活動が限られてしまっている。一方で繰り返して取り組んでほしい意味のあるプログラムがあるのも事実。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	3	2	・コロナの関係もあり、利用する児童の状態にもよると思うが、きめ細やかだと思いたい。	重心・重心外の一緒の活動のため、発達特性の幅が広すぎて課題設定が難しい。
関係機関や 保護者との 連携関係	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	3	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	11	0	0		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	2	0		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	3	0		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	5	0	・やっているか分からない。	年二回、実施している。
関係機関や 保護者との 連携関係	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	7	1	・ガイドラインを全職員が周知しているか不明。	類型放デイの個別支援計画様式を導入し、利用者全員に総則ごとの支援目標を立てて支援している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	3	1	・特別な児童のことについては参加していると思うが…。	サービス担当者会議の機会自体がない。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	0	0	・学校の担任の先生の見学を受け入れ、情報共有を行った。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	3	0		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	7	0		
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	4	2	・求められた場合は行う。	その機会自体がない。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
機関や保護者との連携	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	5	・必要の際には行っていきたい。	その機会自体がない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	3	8	・つき第8内で行っている自分分らない。	特段交流の機会は設けていないが、公園遊びでの交流はある。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	4	3	・管理者が参加している。 ・やっている事のフィードバックがない。	医療的ケア児者部会に委員として参加している。今後はフィードバックを行うようにする。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	2	0	・保護者さんの中でも、できている人とできていない人がいる	共有理解の足りない保護者さんとは面談の機会を設けるようにする。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	9	0	・日々の申し送りの中で、保護者さんから「参考になった」と言っていた事はある。	必要に応じて助言は行っている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	2	0		
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	2	0		
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	5	・コロナ対策で、保護者会等の人が集まる事を避けていたため行えていない。 ・コロナの関係で行えていないのかと思いますが、実際は分からない。	令和5年度は保護者会を実施する。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	0		
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	2	1		毎月の予定表、つきき新聞、および年度末に配布する活動報告冊子で発信している。
	㉟	個人情報に十分注意している	10	1	0		
非常時等の対応	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	6	・現状、行えないのだと思います。	地域住民を招待することはないが地域に開かれてはいる。
	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	3	1	・配布しているが、どこまで読まれているか不明確。 ・職員に関しては免責しているが、保護者が周知しているかは不明。	
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1	0		
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	1	・最近になって確立されているような気がします。	年一回以上の研修や虐待防止委員会の開催を適切に行っている。研修報告書や議事録による情報の周知徹底をこれまで以上に務めていく。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	4	1	・最近になって確立されているような気がします。	年一回以上の身体拘束適正化委員会の開催を適切に行っている。また、必要な利用者とは『身体拘束に関する説明書』を取り交わしている。記録・議事録等による情報の周知徹底をこれまで以上に務めていく。
	㊶	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	3	・保護者からの聞き取りで対応している。	エビイベント参加の利用者はいない。
	㊷	ヒヤリット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	1	・つきき第8内では連絡ノートに記載されているが、事例集は見えない。	事例集を作成している年に一回全職員が内容を確認しているはず。職員連絡ノートで共有もしている。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。